

船橋市総合計画

～生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし～

平成25年度～平成27年度

船橋市実施計画進捗状況報告書

船 橋 市

分野別計画にもとづく事業（目次）

第1章	「いたわりあい」と「支えあい」の心に満ちたまち	……………	1
第2章	いつも身近に「安らぎ」が感じられるまち	……………	6
第3章	文化を育み「豊かな心」と「生きがい」が実感できるまち	……………	14
第4章	活気あふれる「生き生き」とした暮らしのあるまち	……………	20
第5章	都市の活力を生み発展し続けるまち	……………	23
第6章	新時代をひらく「創意」と「意欲」にあふれるまち	……………	28
第7章	計画の推進にあたって	……………	29

船橋市実施計画（平成25年度～平成27年度）進捗状況報告書について

●実施計画の目的・位置づけ

本市は、まちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、平成12年に「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」を目標とした基本構想を策定しました。

基本構想を実現するための基本的な施策を定めた前期の基本計画が平成23年度で終了したことから、平成24～32年度の後期基本計画を策定し、これに基づき市政を推進しています。

また、実施計画は、船橋市総合計画の一部を構成するものであり、後期基本計画の「分野別計画」に沿って、3年間に取り組む事業計画を体系的、具体的に示すなど、毎年度の予算編成及び事務事業の指針とするものです。

※この報告書は、実施計画の計画事業ごとに設定した「目標」（年度ごとの事業量や到達点）の進捗状況についてお知らせするものです。

※実施計画の期間は、平成25年度から平成27年度までの3年間ですが、今回は平成25年度実績を踏まえて評価を行いました。実施計画はローリング方式により、毎年度見直しを行うことから、評価結果により、新たな事業の追加や見直しなど、次期以降の計画に反映してまいります。

●事業評価

数値目標がある取り組み（数値達成率）		進捗状況
100%以上	⇒	予定（計画）どおり進んでいる
80%以上100%未満	⇒	概ね予定（計画）どおり進んでいる
60%以上80%未満	⇒	あまり予定（計画）どおり進んでいない
60%未満	⇒	予定（計画）どおり進んでいない
平成25年度計画なし等評価対象外	⇒	対象外

●船橋市実施計画（平成25年度～平成27年度）分野別進捗状況

進捗状況としては、122事業数に対し、計画どおり進んでいる事業が81、概ね計画どおり進んでいる事業が17で、併せて98（80.3%）となっており、遅れの見られる事業は18（14.8%）となっているものの、全体としては、概ね予定どおりに進捗しています。

分野別区分		計画事業数	計画どおり	概ね計画どおり	あまり進んでいない	進んでいない	対象外
第1章	「いたわりあい」と「支えあい」の心に満ちたまち	22	17	3	1	1	0
第2章	いつも身近に「安らぎ」が感じられるまち	31	19	4	3	4	1
第3章	文化を育み「豊かな心」と「生きがい」が実感できるまち	23	13	2	3	1	4
第4章	活気あふれる「生き生き」とした暮らしのあるまち	12	9	2	1	0	0
第5章	都市の活力を生み発展し続けるまち	21	13	4	2	1	1
第6章	新時代をひらく「創意」と「意欲」にあふれるまち	3	3	0	0	0	0
第7章	計画の推進にあたって	10	7	2	0	1	0
合計（%）		122	81	17	10	8	6
			66.4%	13.9%	8.2%	6.6%	4.9%
			80.3%		14.8%		4.9%

※＜再掲＞事業もカウントしている。

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-1-1-1 (仮称)保健福祉センター建設事業 (健康政策課)	平成27年10月開設に向けた設計・工事の実施	建設着手	建設着手	建設2年目	変更なし	開設(10月)	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおりに進捗している。 今後も、平成27年10月の開設に向けて、建設工事を進める。
千葉県合同庁舎の一部を借用して運営している保健所や、老朽化している中央保健センターなどを移転し、保健・医療・福祉サービスの拠点となる複合施設を、平成27年10月開設を目標に建設します。 ※(仮称)保健福祉センター内設置施設 保健所、中央保健センター、中部地域包括支援センター、夜間休日急病診療所、休日急患歯科診療所、家庭児童相談室、こども発達相談センター、地域活動支援センターなど								
1-1-1-1 地域リハビリテーション拠点整備事業 (健康政策課)	平成26年7月に診療所、平成27年4月に訪問看護ステーションを開設	指定管理者選定、改修工事完了	指定管理者選定、改修工事完了	診療所の開設	変更なし	訪問看護ステーションの開設	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度に3回の指定管理者選定委員会を実施し、指定管理者候補者の選定を行い、平成25年第4回市議会定例会において議決を得て指定管理者の指定を行った。 また、施設改修及び駐車場整備工事については、平成25年12月に竣工となった。 なお、リハビリセンターは、平成26年度から指定管理者による管理運営を開始している。
リハビリセンターに指定管理者制度を導入し、地域生活期(維持期)リハビリを必要とする人などを対象とした診療所と訪問看護ステーションを設置します。市立リハビリテーション病院など回復期病床を持つ施設と密接な連携体制を構築し、市内の地域生活期(維持期)リハビリの中核施設として、地域リハビリテーション推進の一翼を担います。なお、診療所と訪問看護ステーションは指定管理者の独立採算事業としますが、開設後数年間については財政支援の実施を検討します。								
1-1-1-1 在宅医療推進事業 (健康政策課)	(仮称)船橋在宅医療ひまわりネットワークによる地区研究会・セミナーの開催回数	12 回	13 回	12 回	3 回	12 回	3 回	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年5月に、船橋在宅医療ひまわりネットワークを設立した。 また、平成26年3月に地域在宅医療推進連絡協議会において、「船橋市における在宅医療の推進について」報告書として意見をとりまとめた。 今後は、当協議会の報告内容を踏まえて、船橋在宅医療ひまわりネットワークの活動を中心に、在宅医療・介護関係者が連携し、在宅医療の推進に向けて取り組んでいく。また、在宅医療支援拠点の設置に向けて準備を進める。 平成25年度の実績は、研修会、講演会、症例検討会を4回、顔の見える連携づくりを推進する委員会活動を9回開催している。また、平成26年度以降の目標は、船橋在宅医療ひまわりネットワークが活動を開始したことに伴い、症例検討会等の開催回数へ変更した。
在宅医療関係者の顔の見える関係づくりを推進する組織((仮称)船橋在宅医療ひまわりネットワーク)を立ち上げます。また、在宅医療に関する市民からの相談窓口や(仮称)保健福祉センター内に市民・在宅医療関係者を支援する拠点を設置するなど、住み慣れた地域で必要な保健・医療・介護サービスを継続的・一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」実現に向けて、在宅医療推進のための体制を構築します。		(船橋在宅医療ひまわりネットワークによる症例検討会、研修会、講演会等開催回数)						
1-1-1-2 市立医療センター運営事業 (医療センター) [企業会計]	新入院患者数	11,900 人	11,604 人	12,000 人	変更なし	12,000 人	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 目標達成には至らず、対前年度(平成24年度)と比較しても64人の減となった。
市立医療センターが地域の中核病院としての役割を担うために、「船橋市立医療センター中期経営計画」において目標として掲げる安定的な経営の確保、地域医療における連携強化、診療機能の充実、サービスの向上と市民の理解、教育・研修等の充実を推進し、経営の健全化を図ります。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-1-1-2 市立医療センター施設等整備事業 (医療センター) [企業会計]	予定している施設改修、システム・医療機器の導入・更新完了	電子カルテ本稼働開始	電子カルテ本稼働開始	A館設備改修工事完了	変更なし	A館屋上水槽類改修工事完了	変電設備更新工事完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年10月より電子カルテの本稼働を開始した。
市立医療センターの医療機能の充実と経営の安定化を図るため、建物・設備の改修、医療機器の新規購入・更新、病院情報システムの更新を計画的に行います。								
1-1-2-3 妊婦歯科健康診査事業 (健康増進課)	妊婦歯科健康診査受診者数	2,047 人	1,530 人	1,750 人	—	1,890 人	—	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度の目標値は、対象者8,900人、受診率23%と推定し設定した。結果は、対象者7,442人、受診者1,530人となり、受診率は20.6%であった。対象者が見込みより少なかったため、受診者数は目標に達しなかったが、受診率から見た場合、事業全体としては、概ね予定どおり進捗している。今後は、より受診率を高め、平成27年度には受診率27%を目指す。
妊娠中は歯科疾患が発生しやすく、また歯周病菌に感染すると早産や低体重児のリスクが高まります。自らの口腔の状態を知り、歯科疾患の予防意識を高めることで、生まれてくる子どもを含む家族全体の歯・口腔の健康意識の向上につながるよう妊婦歯科健康診査(口腔内審査と保健指導)を実施します。								
1-1-2-4 健康危機対応に備えた業務継続計 (健康政策課 画(BCP)策定事業 (保健所総務課))	実行性のある業務継続計画の策定及び推進	業務継続計画の完成	業務継続計画の案作成	見直しの適宜実施	—	見直しの適宜実施	—	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度中に策定予定であったが、全課へ事業の確認調査を実施した後、一部計画の見直しの必要がでた。このため、策定が平成26年度に延びて、現在修正中である。修正後は、全課に意見照会を行い策定となる。
新たな感染症の発生等に備えて、健康危機管理業務と一般業務の継続に必要な人員を確保するための業務継続計画(BCP)を策定し、一定の市民サービスが提供し続けられるよう努めます。								
1-2-1-1 災害時要援護者見守り活動支援補 (地域福祉課) 助事業	電話による見守り活動を実施する地区社会福祉協議会の数(全24団体中)	12 団体	7 団体	24 団体	—	24 団体	—	【予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度は12団体の計画に対して7団体が見守り活動を実施した。目標には届かなかったが、他の団体に事業を行うよう啓発しており、平成26年度においては計画達成ができるよう引き続き事業参加を促す予定。
災害時等の要援護者避難支援を迅速に行うためには、日頃の見守り活動が大切であることから、船橋市社会福祉協議会が実施する災害時要援護者見守り活動支援事業に要する費用の一部を補助します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-2-2-1 子ども医療費助成事業 (児童家庭課)	通院助成対象を中 学校3年生まで拡大	8月診療分から実施	8月診療分から実施	継続	—	継続	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画目標である中学生の通院医療費助成を平成25年 8月診療分から開始し、自己負担金を300円とした。 これにより中学校3年生までの入院及び通院医療費が 助成の対象となった。今後は、この制度を継続し安定 した制度運営に努めていく。
子育て世帯にかかる経済的な負担軽減のため、子どもの保 険診療自己負担金を助成し、安心して子育てができる環境 を整えます。 (現行制度 助成対象:入院は中学校3年生まで、通院は 小学校6年生まで 自己負担金:200円)								
1-2-2-1 子ども・子育て支援新制度準備事 業 (子ども政策課・保育 課・保育施設整備課・ 児童育成課・学務課)	平成27年4月1日 からの子ども・子育て 支援新制度開始 に向けた取り組みの 実施	ニーズ調査実施	ニーズ調査実施 (調査報告書作成)	事業計画策定	変更なし	新制度に基づくサー ビス開始	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度においては、ニーズ調査を実施し、調査報 告書を作成した。 現在、この調査結果を踏まえ、事業計画に記載する 「量の見込み」や「確保方策」の検討を進めており、平 成26年度中に事業計画を策定する予定である。
社会保障と税の一体改革に伴い、平成27年度から幼稚園・ 保育所・認定こども園共通の給付が開始されるなど子ども 子育て支援新制度が始まる予定です。質の高い幼児期の 学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、 地域の子ども・子育て支援の充実を目指し、新制度開始に 向け準備を進めます。								
1-2-2-2 放課後ルーム整備事業 (児童育成課)	待機児童の発生が 見込まれる放課後 ルームの施設整備 数	1 施設	2 施設	5 施設	4 施設	2 施設	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度内に予定していた前原第2放課後ルーム の整備が完了した。 また、平成26年度増設を予定していた西海神第2放課 後ルームについて、整備手法を検討する間、多目的ス ペースを一時的に利用し第2ルームを開所した。
市内の全54小学校(分割運営を含め76施設)に放課後ルー ムを開設していますが、地域によって待機児童が発生して いる状況です。待機児童の発生が見込まれる放課後ルー ムに施設の増設等整備を行います。								
1-2-2-3 保育所整備事業 (保育施設整備課)	新設整備・改修工事 への補助による定 員増加分	460 人分	460 人分	250 人分	335人分 + 公募によ る整備分	90 人分	子ども・子育て支援 事業計画で決定	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成26年度の整備目標は、待機児童の解消を図るた め、335人分に拡大した。各事業者ともに7月から順次 着工している。 公募による整備分については、5月15日より募集を開 始しており、平成27年4月、及び28年4月開所予定の事 業者を募集している。 なお、平成27年度の整備目標は、90人分としていた が、平成26年度中に策定する子ども・子育て支援事業 計画によって整備予定数を設定することとした。
保育所用地の確保や施設整備に係る経費等に補助を行う ことによって、民間認可保育所の新設整備を促進し、待機児 童の解消を目指します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-2-2-3 認証保育所事業 (保育課)	定員増加人数 (「多様な保育サービスの提供」の一施策として推進)	26 人	36 人	50 人	「多様な保育サービスの提供」の一施策として推進	50 人	「多様な保育サービスの提供」の一施策として推進	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画を上回り、着実に進捗している。今後は子ども・子育て支援事業計画に基づき量の確保を図っていくこととなるが、多様な保育サービスの提供として、引き続き事業を進めていく。
1-2-2-3 保育所耐震整備事業 (保育施設整備課)	整備(設計)着手園数 耐震診断の結果にもとづき、平成27年度までに公立保育所の耐震補強工事及び建て替え工事を実施します。建て替える保育所は定員増による待機児童の解消を目指します。	2 園	2 園	5 園	3 園	0 園	2 園	【予定(計画)どおり進んでいる】 整備計画は概ね予定どおり。 なお、本町保育園については2階部分の改修設計、緑台保育園については整備手法・用地等の検討を平成26年度に行うため、整備(設計)着手を平成27年度に変更した。
1-2-2-4 児童発達支援センター整備事業 (療育支援課)	平成27年4月開設に向けた取り組みの実施 老朽化が進んだ南本町にあるさざんか学園に代わる新たな児童発達支援センター(定員80名)を、行田の国家公務員船橋体育センター跡地に整備します。整備は、民間事業者が建設、運営を行う民設民営方式により行います。	用地取得、事業者選定完了	用地取得、事業者選定完了	施設整備工事完了	変更なし	開設、既存施設解体工事完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年5月に用地取得、既存建物解体・造成工事を行った。平成25年7月に事業者選定委員会の答申を経て、新設児童発達支援センター設置及び運営事業者を決定した。今後、社会福祉施設等施設整備費国庫補助金の内示を経て関係各課と協議し、平成27年4月開設に向け予定通り進めていく。
1-2-2-5 母子生活支援施設整備事業 (児童家庭課)	平成28年4月開設に向けた取り組みの実施 老朽化が進んだ夏見母子ホームに代わる新たな母子生活支援施設(20世帯)を行田の国家公務員船橋体育センター跡地に整備します。子育て中の保護者が、疾病、出産、仕事等で一時的に子どもの養育が困難になった時に、宿泊または日帰りで子どもを預かる子育て短期支援事業として、ショートステイ等を併設します。整備は、民間事業者が建設、運営を行う民設民営方式により行います。	用地取得、事業者選定完了	用地取得、事業者選定完了	工事着工	変更なし	工事完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年5月に用地取得、平成25年10月にプロポーザル方式により、設置運営法人を決定した。以後、施設建設にあたっての各課協議等を進めてきたが、平成26年2月、船橋市社会福祉法人認可・社会福祉施設整備等審査会で、同法人の整備計画について審議し、施設整備を認める、との結果を得た。 今後は、実施設計、建築確認、入札、平成26年度中の工事着工と予定通り進めていく。

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-2-3-3 北総育成園整備事業 (障害福祉課)	平成26年度中の既存棟改修工事完了	既存棟改修工事着手	既存棟改修工事着手	既存棟改修工事完了	既存棟改修工事完了・供用開始	改修既存棟供用開始		【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、計画どおり既存棟の改修工事に着手した。 計画変更となった理由は、計画段階では平成26年度末までで改修工事・施設運営法人による移転等が完了し、平成27年度から供用開始となる予定であった。しかし想定より工事期間が短くなったため、平成26年度中に供用開始できる見込みとなった。
昭和49年に開園し、建物の老朽化と入所者の高齢化に伴う障害の重度化が進んでいる北総育成園で、施設環境の充実を図るため、バリアフリー対応の新棟を建設(平成25年4月供用開始予定)し、既存棟の改修や耐震補強工事を行います。								
1-2-3-3 生活介護事業所整備事業 (障害福祉課)	平成27年4月開設に向けた取り組みの実施	用地取得、事業者選定完了	用地取得、事業者選定完了	施設整備費補助金交付	変更なし	供用開始	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、計画どおり用地の取得及び事業者の選定が完了した。
身体障害者福祉作業所太陽の定員に余裕がなく、今後新規利用者の受け入れが難しくなると見込まれているため、重度身体障害者が通所できる新たな生活介護事業所を、行田の国家公務員船橋体育センター跡地に民設民営方式により設置します。								
1-2-4-2 地域包括支援センター委託運営事業(包括支援課) 業[特別会計]	委託型の地域包括支援センター数 (地域包括支援センター・在宅介護支援センターの機能強化)	4 施設	4 施設	4 施設	全在宅介護支援センターの常勤・専従化	4 施設	認知症初期集中支援チームの配置検討	【予定(計画)どおり進んでいる】 業務を委託する事業者を平成24年10月に決定し、平成25年4月の開設に向け約5か月の準備期間を確保することができた。計画どおり平成25年4月1日「新高根・芝山・高根台地域包括支援センター」を開設し、直営5か所、委託4か所の9センター体制を整えた。
高齢者人口の増加に伴い、高齢者に関する総合相談やケアプラン作成件数などが年々増加し、地域包括支援センターの担う役割はさらに重要になってきています。地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため、新高根・芝山・高根台地区に地域包括支援センターを増設します。また、職員を増員し、地域包括支援センターの担う「地域ケア会議」の運営主体としての機能を強化します。								
1-2-4-3 高齢者福祉施設整備費補助事業 (高齢者福祉課)	特別養護老人ホーム整備床数	422 床	342 床	0 床	80 床	未定	第6期介護保険事業計画で決定	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 新設1施設(80床)については、着工及び整備の遅れにより、平成26年度事業に変更した。
施設介護の必要がある高齢者が待機することなく円滑に入所できるように、社会福祉法人等に対し補助を行い高齢者福祉施設の整備を進めます。特別養護老人ホームの整備にあたっては個室ユニット化を推進し、高齢者の尊厳を守り、自分らしく生き生きとした生活が送れる施設の実現を目指します。(26年度末時点での整備済予定数:広域型特別養護老人ホーム1,969床、併設ショートステイ居室350床、小規模特別養護老人ホーム78床、認知症高齢者グループホーム800床)								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
1-3-1-1 介護保険料コンビニ収納導入事業 [特別会計] (介護保険課)	コンビニエンスストア での収納件数	30,000	41,216	32,100	—	32,100	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 コンビニ収納を開始した平成25年度は、計画値を上回る 利用実績であった。 第1号被保険者の利便性が向上し、事業の目的は達成 できており、今後も事業を継続していく。
普通徴収対象の第1号被保険者(65歳以上)の利便性と収納率向上のため、介護保険料のコンビニエンスストアでの納付を開始します。		件	件	件		件		
1-3-2-1 国民健康保険課窓口業務委託事業 [特別会計] (国民健康保険課)	平均処理時間	27	25	21	—	15	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年10月から窓口委託を開始し、6ヶ月間の平均 処理時間は25分と計画を上回る結果だった。特に、2・ 3月の平均処理時間は、21・22分と短縮傾向にあり、効果 があがってきている。 平成26年度からは新たに受付区分別処理時間集計表 を作成し、受付事由ごとに事務の流れや発券方法に ついて毎月検証して改善を図る。 また、受電委託については、委託側と職員側の受電件 数がほぼ半々になっており、委託側で処理された時間 分が事務効率の向上につながっている。
定型的な業務である窓口一次受付、電話受付を委託化することにより、職員による相談業務の充実、待ち時間の短縮、事務効率の向上を図ります。		分	分	分		分		
2-1-1-2 準用河川整備事業 (河川整備課)	多自然川づくり改修 延長	580	397	499	488	520	560	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度末で整備延長1,188m(整備率44%)である。 工事に伴う借地交渉の難航、県道交差部施工に係る千葉県との協議及び大雨等悪天候により事業の遅れが生じており、目標を変更した。
河道を拡幅して流下能力を増大させ、河川の氾濫による被害を防御し治水安全度を向上させるとともに、市民が親しみと安らぎを感じる多自然川づくりを進めます。(木戸川については平成27年度完了予定)。		m	m	m	m	m	m	
2-1-2-1 都市緑地整備事業 (公園緑地課)	緑地等の整備及び 用地買収箇所数	0	0	3	4	1	変更なし	【対象外】 整備・用地買収箇所はないが、次年度整備予定箇所の設計委託2件を実施した。 【平成26年度】 用地買収について用地交渉の結果、松が丘2丁目緑地を(仮称)咲が丘1丁目緑地に変更する。また、前原1号緑地の擁壁工事に伴う周辺住民の同意が得られたため前原1号緑地の擁壁整備を追加する。 【平成27年度】 用地買収について、宮本8丁目用地買収を先送りし、平成26年度用地買収した(仮称)咲が丘1丁目緑地の整備を追加する。
市内に残された貴重な緑を保全し、市民に散策や森林浴など自然とふれあう場所を提供するため、緑地の整備を進めます。		カ所	カ所	カ所	カ所	カ所		

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-1-2-1 都市公園整備事業 (公園緑地課)	公園等の整備及び 用地買収箇所数	4 力所	3 力所	2 力所	変更なし	2 力所	変更なし	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 用地買収については、地権者の意向により当初買収を予定していた箇所が買収できなかったため、他の場所を買収した。また、整備については1カ所、工事が不調となったため、平成26年度に繰越しとなった。 【平成26年度】 用地買収について、丸山牧の里公園の整備及び西船・海神地区公園用地買収を、(仮称)大穴近隣公園及び丸山公園拡張用地に変更する。 【平成27年度】 用地買収について、地元から要望があった(仮称)海神5丁目公園及び(仮称)本町1丁目公園を追加する。また、平成25年度に千葉県企業庁から譲渡された(仮称)若松2丁目公園の整備を追加する。
都市の快適性や防災機能の向上のため、身近な公園や、レクリエーションの場となる公園を整備します。								
2-1-2-1 運動公園整備事業 (公園緑地課 生涯スポーツ課)	計画にもとづく公園 の再整備	プール設計完了・体 育館工事着手	プール設計完了・体 育館工事着手	プール工事着手・体 育館工事完了	体育館工事完了	プール工事完了	プール工事着手	【予定(計画)どおり進んでいる】 今後は、体育館耐震工事の完了を目指す。また、プール改修に伴い、新設駐車場の用地確保が急務である。プール改修及び駐車場新設整備の内容を検討し事業を進めていく。 【平成26・27年度】 プール本体工事に着手するに当たり、管理棟の新築工事箇所にある既存浄化槽が支障となるため、平成26年度に浄化槽工事を実施する必要があったことから、プール工事の着手を平成27年度に変更する。
施設の老朽化、利用者のニーズの多様化などにより、魅力の低下を招いているため、市民の要望を取り入れながら老朽化した公園のリニューアルを図り、魅力ある公園として再生していきます。								
2-1-2-1 アンデルセン公園拡張整備事業 (公園緑地課)	平成25年度用地買 収完了及び平成31 年度供用開始に向 けた整備 (平成31年度供用開 始に向けた整備)	予定整備・用地買収 の完了	予定整備・用地買収 の完了	予定整備の完了	予定整備・用地買収 の完了	予定整備・用地買収 の完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 拡張用地を買収し、ドッグラン整備やトイレ・連絡橋の周辺整備などを行った。平成31年度の拡張部全体の供用開始に向け事業を進めていく。 【平成26年度】 主に芝生広場整備、ドッグランの整備、管理事務所改築、南駐車場拡張整備 【平成27年度】 西口ゲート周辺整備、芝生広場整備
平成31年度、都市計画決定区域(A=38.6ha)全域の供用開始に向け、アンデルセン公園の拡張整備を進めます。								
2-1-3-1 生物多様性地域戦略策定事業 (環境保全課)	生物多様性地域戦 略の策定	秋期調査・冬期調査 の完了	秋期調査・冬期調査 の完了	春期調査・夏期調査 の完了	変更なし	生物多様性に関する 各種調査の完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 市内の自然環境調査として、秋期及び冬期の調査を実施した。 なお、調査の実施にあたり市民等の意見を聴取するため、市民、学識経験者等を含めた自然環境調査検討委員会を設置し、調査方針を策定後、調査事業者と委託業務契約を締結した。また、自然環境調査庁内検討会を設置し、関係課の協力を求める体制作りを行った。 今後、平成26年度には春期及び夏期の調査を実施し、四季の調査結果をまとめる計画を進めていく。
動植物の生息状況を把握する「自然環境調査」を実施し、その結果をもとに生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な事項を定めた「生物多様性地域戦略」を策定します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-1-3-2 ふなばし三番瀬海浜公園活用事業 (政策企画課・商工振興課・環境保全課)	平成29年度供用開始に向けた整備	業者選定	公募型提案競技(プロポーザルコンペ)により受託候補者の特定を行った。	基本実施設計の完了	変更なし	工事着手	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 予定どおり、公募型提案競技(プロポーザルコンペ)を実施し、基本・実施設計委託の受託候補者の特定を行った。 平成26年度は、受託候補者と契約を行い、基本・実施設計を進めていく。
平成24年度に策定した基本構想にもとづき、ふなばし三番瀬海浜公園のプール跡地を中心としたエリアを、市民が親しみながら干潟の生物や水鳥の観察等、環境学習が行えるような体験学習型の施設を整備します。								
2-2-2-1 蛍光管・乾電池収集事業 (クリーン推進課)	蛍光管と乾電池の分別収集量	蛍光管30トン、乾電池50トン	蛍光管7.14トン、乾電池38.97トン	蛍光管30トン、乾電池50トン	—	蛍光管30トン、乾電池50トン	—	【予定(計画)どおり進んでいない】 昨年度に比べ不燃ごみの搬入量が大幅に減少(-1,600トン)し従来不燃ごみであった蛍光管と乾電池の搬出量も減少したことから、収集量が計画を下回った。 今後の分別排出をより促すために、全戸配布するリサーチちゃんだよりに再掲載したところであり、各見学会においても周知していく。
不燃ごみとして取り扱われていた蛍光管と乾電池の分別収集を行うことで、再資源化を図り、最終処分による環境負荷を軽減します。								
2-2-2-2 北部清掃工場建設事業 (クリーン推進課)	平成29年度稼働に向けた取り組みの実施	予定の工事・調査の完了、暫定破碎施設移設の完了	予定の工事・調査の完了、暫定破碎施設移設の完了	予定の工事・調査の完了	変更なし	予定の工事・調査の完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 建設予定地内の暫定破碎施設の移設を完了した。 また、施設整備工事に着手する他、平成25年度予定した調査を完了した。
北部清掃工場隣接地に新しく清掃工場を建設します。新しい清掃工場は、設計・建設から運営までを民間事業者が行うDBO方式の手法を採用します。								
2-2-2-2 南部清掃工場建設事業 (クリーン推進課)	平成31年度建設工事完了、平成34年度解体工事・跡地整備完了	予定の評価・調査・計画作成の完了	予定の評価・調査・計画作成の完了	予定の評価の完了	変更なし	予定の評価の完了、事業者選定または基本設計の完了	環境影響評価完了、事業者選定	【予定(計画)どおり進んでいる】 事業者選定に向け、PFI導入可能性調査を完了した。 また、平成25年度予定した調査を完了した。
南部清掃工場隣接地に新しく清掃工場を建設するため、必要な調査や手続きを行います。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-2-3-1 下水道整備事業(管渠・処理場等 の整備)[特別会計] (下水道部)	計画にもとづく整備 の実施	管渠・処理場の整備	管渠・処理場の整備	管渠・処理場の整備	変更なし	管渠・処理場の整備	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 国の交付金が減額となっているなか、さらなる効率・改善化を図り事業を進める。
各処理区(西浦、高瀬、津田沼、印旛、江戸川左岸)の管渠整備や、西浦下水処理場・高瀬下水処理場の整備を進め、汚水処理の拡充を図ります。								
2-2-3-1 下水道整備事業(地震・長寿命化 対策)[特別会計] (下水道部)	下水道施設の耐震化・長寿命化対策を図る	予定の対策事業の完了	予定の対策事業の完了	予定の対策事業の完了	変更なし	予定の対策事業の完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、国の下水道長寿命化支援制度による交付金を活用し、計画通り平成25年度予定していた対策事業を完了させた。
日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、ライフサイクルコストの最小化の観点を踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した長寿命化計画を作成し、計画的な改築を進めます。								
2-3-1-2 地域防災計画推進事業 (危機管理課)	各計画の見直しや策定・配布の完了	災害時職員行動マニュアル(地震編)の作成 防災ハザードマップの作成・配布完了	災害時職員行動マニュアル(地震編)の作成 防災ハザードマップの作成・配布完了	各計画などへ国の最新の知見・方針を反映	地域防災計画などへ法改正や被害想定の見直しを反映 津波避難計画の作成	各計画などへ国の最新の知見・方針を反映	地域防災計画などへ法改正や被害想定の見直しを反映	【予定(計画)どおり進んでいる】 災害対応にあたる班を単位とした「地震災害時職員行動マニュアル」を作成し、発災初期から復興期までの実施行動を示し、対応力強化に繋がる成果を得ることが出来た。 また、国の南海トラフ地震想定に基づく本市域への津波浸水被害想定と、首都直下地震に伴う被害想定、防災施設等を示した津波ハザードマップを作成し、津波や地震に対する市民意識の向上と啓発を目的に、市内全29万世帯に向けて配布を完了した。
24年度に改定した地域防災計画にもとづく災害時職員行動マニュアル(地震編)を策定します。 また、津波ハザードマップ、地震ハザードマップを両面に印刷した防災ハザードマップを作成し、各家庭へ配布します。 地域防災計画については、上位計画や最新の知見・指針などに照らした見直しを適宜行っていきます。								
2-3-1-2 防災備蓄整備事業 (危機管理課 消防局総務課)	新規で備蓄を整備する施設数 (備蓄食料の達成率)	14 施設	14 施設	0 施設	80 %	0 施設	90 %	【予定(計画)どおり進んでいる】 県立高校及び老人福祉センター(宿泊可能避難所及び福祉避難所)への備蓄品の整備が前倒し(平成25年度)で終了したことから、計画目標を施設数から備蓄食料(食料品や飲料水)の達成率に変更した。 【備蓄目標※】 ①クラッカー等(目標値:215,651食→H25:169,288食「79%」) ②飲料水(目標値:222,000ℓ→H25:93,024ℓ「42%」) ※全壊・焼失による避難者23,000人、帰宅困難者5,000人(東日本大震災発生時)の想定による(避難者3日分、帰宅困難者1日分) 自家用給油取扱所については平成26年3月に整備完了。
小・中学校等宿泊可能避難所の備蓄品の拡充や更新を行うとともに、新たに避難所に指定した県立高校等や福祉避難所への備蓄品の整備を実施します。 また、大規模災害発生時、物流が途絶えても消防活動を継続して実施できるよう、消防車両等の燃料を備蓄・給油するための自家用給油取扱所を整備します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-3-1-2 (仮称)防災備蓄センター整備事業 (危機管理課)	27年度開設	実施計画完了	実施計画完了	工事完了	変更なし	運用開始	【予定(計画)どおり進んでいる】 (仮称)防災備蓄センターの建設に向け、新築工事に係る実施設計を委託し、設計完了した。 平成25年度は、用地関係については、用地購入や既存施設の解体、敷地造成工事等を実施した。敷地造成工事については、工期延伸により完了時期がずれ込んだが、事業は計画どおり進捗している。	
行田の国家公務員船橋体育センター跡地に、物資の集積・配送拠点となる防災備蓄倉庫を整備します。								
2-3-1-2 地震時における業務継続計画 (BCP)等策定事業 (危機管理課)	平成25年度までに大地震発生時の業務継続計画(BCP)を策定	業務継続計画の完成	業務継続計画(案)の作成	見直しの適宜実施	—	見直しの適宜実施	—	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 庁内調整、事業継続のための対応策検討に時間を要したため計画より遅れ、計画(案)の作成に留まった。 平成26年度中の完成を予定している。
大地震発生時に必要な応急対策業務、復旧・復興業務のほか、継続すべき通常業務を行いながら、優先度の高い業務から段階的に回復させていくための業務継続計画(BCP)を策定します。								
2-3-1-2 下水道BCPの策定[特別会計] (下水道河川計画課)	平成25年度の計画策定に向けた取り組みの実施	計画完成	計画完成	見直しの適宜実施	—	見直しの適宜実施	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 体制にかかる骨子は完成した。今後の活動内容について、より具体化する方向で検討を進める。
災害時における下水道機能の継続・早期回復のため、下水道に関する業務継続計画(BCP)を策定します。								
2-3-1-2 非常時活動拠点整備事業 (消防局警防課)	平成28年度開設	(用地取得)	(用地取得)	(設計完了)	工事着手	工事完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 関係課と協議を重ね、消防車両走行のための耐圧路盤面の設置計画が確定する。 また、防火水槽の設置が完了しているため予定通り計画は進行している。	
(行田多目的広場整備事業)								国より取得予定の行田の国家公務員船橋体育センター跡地に、大規模災害時に他県からの緊急消防援助隊を受け入れるための進出・活動拠点(通常時は、サッカー等ができる多目的広場として活用)を整備します。

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-3-1-3 運動公園整備事業<再掲> (公園緑地課 生涯スポーツ課)	計画にもとづく公園 の再整備	プール設計完了・体 育館工事着手	プール設計完了・体 育館工事着手	プール工事着手・体 育館工事完了	体育館工事完了	プール工事完了	プール工事着手	【予定(計画)どおり進んでいる】 今後は、体育館耐震工事の完了を目指す。また、プ ール改修に伴い、新設駐車場の用地確保が急務であ る。プール改修及び駐車場新設整備の内容を検討し 事業を進めていく。 【平成26・27年度】 プール本体工事に着手するに当たり、管理棟の新築 工事箇所にある既存浄化槽が支障となるため、平成 26年度に浄化槽工事を実施する必要があったことか ら、プール工事の着手を平成27年度に変更する。
施設の老朽化、利用者のニーズの多様化などにより、魅力 の低下を招いているため、市民の要望を取り入れながら老 朽化した公園のリニューアルを図り、魅力ある公園として再 生していきます。								
2-3-1-3 橋りょう維持・耐震化事業 (道路建設課)	市内重要橋りょうの 落橋防止(耐震化) 工事完了橋りょう数	1 橋	0 橋	0 橋	1 橋	1 橋	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいない】 耐震補強事業については、当初平成25年度完成予定 の1橋について、JR東日本にて施工方法について見 直しを行っており遅れが生じている。 また、もう1橋については、当初より平成25～27年度の 3箇年で完成の予定であり、予定通り進んでいる。 長寿命化修繕事業については、予定通り平成25年度 から修繕工事に着手している。
市内の重要橋りょう21橋の耐震補強工事を随時実施してい きます。また、橋りょう233橋の長寿命化修繕計画を平成25 年度に公表し、この計画にもとづく長寿命化修繕を平成25 年度から実施します。								
2-3-1-3 下水道整備事業(地震・長寿命化 対策)[特別会計]<再掲> (下水道部)	下水道施設の耐震 化・長寿命化対策を 図る	予定の対策事業の 完了	予定の対策事業の 完了	予定の対策事業の 完了	変更なし	予定の対策事業の 完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、国の 下水道長寿命化支援制度による交付金を活用し、計 画通り平成25年度予定していた対策事業を完了させ た。
日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機 能停止を未然に防止するため、ライフサイクルコストの最小 化の観点を踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した長寿命 化計画を作成し、計画的な改築を進めます。								
2-3-1-3 護岸改修事業 (河川整備課)	護岸の改修延長	浜町護岸55m	0 m	護岸改修工事着手: 160m	浜町1丁目護岸整備 工事完了 (L=51.3m)	護岸改修工事:160 m	整備手法検討結果 に基づき目標値を設 定します。	【予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度 整備延長29.6mを発注済みであるが、東 京電力電柱移設に不測の日数を要したため、遅れが 生じている。(平成26年6月末移設完了) 護岸工事については、緑地の整地及び締切矢板を施 工中。
船橋市所有の護岸の老朽化が進んでいるため、大規模な 災害に備えて耐震対策を含めた改修事業を実施します(工 事総延長1,600m 10力年工事を想定)。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-3-1-3 急傾斜地崩壊対策事業 (宅地課)	予定工事の完了	1期工事完了	1期工事完了予定の25%程度の出来高	2期工事完了	変更なし	3期工事完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいない】 現在進行中の事業は県主体の事業であり、船橋市は事業費の一部(20%)を支払い、その半額を地権者から受け入れる負担金事業となっている。 当初県の計画では平成25年10月頃に1期工事に着手し、平成25年度内に完了する予定であったが、事務手続き等の遅れにより工事着手が年度末からとなった為、当初予定と比べ25%程度の出来高となった。 なお、平成26年度初旬で1期工事の残りを完了させ、2期工事を予定通り施工する見込みとのことであり、平成26年度には当初計画通り2期工事が完了する予定。
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律にもとづき、豪雨や大地震などによる急傾斜地の崩壊の災害から市民の生命を保護するため、急傾斜地の崩壊防止に必要な措置を行います。								
2-3-1-4 準用河川整備事業<再掲> (河川整備課)	多自然川づくり改修延長	580 m	397 m	499 m	488 m	520 m	560 m	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度末で整備延長1,188m(整備率44%)である。工事に伴う借地交渉の難航、県道交差部施工に係る千葉県との協議及び大雨等悪天候により事業の遅れが生じており、目標の変更を実施した。
河道を拡幅して流下能力を増大させ、河川の氾濫による被害を防御し治水安全度を向上させるとともに、市民が親しみと安らぎを感じる多自然川づくりを進めます(木戸川については平成27年度完了予定)。								
2-3-1-4 下水道整備事業(雨水対策) [特別会計] (下水道建設課)	平成25年度工事着手	実施設計完了	実施設計完了	雨水整備工事	変更なし	雨水整備工事	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 二重川排水区・木戸川右岸第2排水区及び駒込川排水区の設計が完了した。 平成26年度より二重川排水区において工事着手する予定。
平成23年度に策定した雨水整備計画にもとづき、特に浸水被害が大きいと想定される地区について、下水道の全体計画に位置づけられた主要な雨水管渠等を主に貯留管として先行建設することで、浸水被害の軽減を図ります。								
2-3-3-2 消防水利整備事業 (消防局警防課)	消防水利の整備率	94.5 %	94.8 %	94.8 %	96.9 %	95.0 %	97.0 %	【予定(計画)どおり進んでいる】 設置予定数である芝山・新高根地区に1基、二和西・東地区に2基、みやぎ台・八木が谷地区に1基の合計4基の設置が完了した。 また、設置計画の前倒しにより、目標値の変更をした。
消火栓の設置や耐震性貯水槽等の整備を行い、消防水利を整備します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-3-3-3 (仮称)船橋まちなかAEDステーション事業 (健康政策課)	24時間営業のコンビニエンスストアへのAED設置台数	218 台	198 台	新規出店数	—	新規出店数	—	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年8月に、船橋まちなかAEDステーション事業を開始した。 今後も、市内の24時間営業のコンビニエンスストアの新規出店店舗に、事業者の協力を得て、AEDを設置していく。
市内の24時間営業のコンビニエンスストアに、事業者の協力を得てAEDを設置し、周辺で心肺停止傷病者が発生した際に、市民がいつでもAEDを利用できる環境を整えます。市民による心肺蘇生の機会が拡大されることにより、更なる救命率の向上を目指します。								
2-3-4-2 馬込霊園整備事業 (環境衛生課)	平成28年度に合葬式墓地の供用開始 (平成30年度に合葬式墓地の供用開始)	アクセス道路取得に向けた手続きの完了	アクセス道路用地不動産鑑定実施	合葬式墓地建設着工	アクセス道路用地取得	合葬式墓地建設完了	合葬式墓地設計	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 予定通りアクセス道路用地不動産鑑定を行った。今後は土地所有者と売買交渉を行うとともに、アクセス道路が接する地元町会に理解を求めていく。 また、合葬式墓地建設については、アクセス道路用地の買収が完了した後に霊園周辺町会・自治会に説明し、理解を得た上で建設を進めていく必要があることや、墓地の設計について再度検討が必要なことから、目標を平成30年度供用開始へ変更している。
新たな形態の合葬式墓地建設を主な柱として馬込霊園を整備します(馬込霊園第5次整備事業)。また周辺の交通渋滞対策として、馬込霊園に通じるアクセス道路の整備を進めます。								
2-3-4-2 第2斎場整備事業 (環境衛生課)	平成31年度供用開始に向けた取り組みの実施	環境影響調査・埋蔵文化財調査	環境影響調査・埋蔵文化財調査・測量調査・基本設計	基本設計・用地取得	都市計画決定手続	実施設計及び地区外施設工事着手	実施設計・用地交渉	【予定(計画)どおり進んでいる】 予定通り各種調査・基本設計を実施した。 埋蔵文化財調査については、確認調査の結果、本調査を必要とする区域が極めて少なかったことから、複数年を要する本調査区域の区割りを考慮して、平成25年度は本調査を実施せず、平成26年度へ先送りした。 なお、建設予定地において、希少野鳥の営巣が確認されたことから、現在、代替地を検討中。
四市複合事務組合の事業である第2斎場の建設に係る経費を、四市複合事務組合規約にもとづき、船橋市、八千代市、鎌ヶ谷市、習志野市の4市で負担します。 ※四市複合事務組合との調整状況によるため、スケジュール等の修正など適宜対応します。								
2-3-5-2 三山団地整備事業 (住宅政策課)	平成27年度供用開始に向けた設計・工事の実施 (平成27年度供用開始に向けた工事の実施)	建設着手	建設着手	建設完了	変更なし			【予定(計画)どおり進んでいる】 平成26年度中に建設工事が完了し、平成27年度から供用開始の予定であったが、平成27年2月から供用開始が出来る見込みである。
老朽化した三山団地3・4号棟を解体し、新たにB棟の建設を行います。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
2-3-5-2 公営住宅管理事業 (住宅政策課)	UR賃貸住宅新規借 上げ戸数	20 戸	20 戸	15 戸	変更なし	10 戸	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 当初の計画どおり、独立行政法人都市再生機構(U R)の管理する公的賃貸住宅を借上げている。
市営住宅供給計画を策定し、市営住宅が不足しているとい う結果を踏まえ、平成27年度までに、独立行政法人都市再 生機構(UR)の管理する公的賃貸住宅を市営住宅として55 戸借上げ、市営住宅として提供します。								
3-1-1-3 西図書館建替事業 (社会教育課)	平成28年中の開館	基本・実施設計完了	基本・実施設計完了	建設工事19%完了	建設工事22%完了	建設工事95%完了	建設工事48%完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおり、基本・実施設計を完了し、工事契約を締 結した。 なお、JRとの協議により平成26年度以降の計画を修 正した。また、工事の進捗割合は今後も工事の状況に より変更の可能性はある。
東日本大震災により被災した西図書館の場所を移転して建 て替えを実施します。								
3-1-1-3 浜町公民館建替事業 (社会教育課)	平成26年度中の開 館	建設工事53%完了	建設工事53%完了	建設工事完了・開館	変更なし			【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおり建設工事の53%を完了し、平成26年5月23 日竣工、6月25日開館した。
浜町公民館の貸与契約期間満了に伴い、近隣地での建て 替えを実施します。								
3-1-1-3 北部公民館建替事業 (社会教育課)	平成26年度に講堂 を除き一部開館、平 成27年度に全面開 館予定	建設工事約7%完了	建設工事5%完了	建設工事約57%完 了	建設工事約56%完 了	建設工事完了・開館	変更なし	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 工事契約時に全体工程を精査し、出来高の年割額を 変更した。それに伴い平成26年度以降の計画も修正し た。平成26年9月の開館(講堂を除く)および平成27年 12月末竣工となる全体工程に変更はない。
北部公民館の老朽化に伴い、建て替えを実施します。(平成 26年度講堂除き一部開館、平成27年度全面開館予定)								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
3-1-2-1 学校支援整備事業 (社会教育課)	「学校支援地域本部」新規認定数	2 校区	2 校区	2 校区	変更なし	2 校区	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 各中学校区の協力により、計画通りに進捗している。平成25年度は、宮本・飯山満の2中学校区が新たに加わり、平成24年度の三山・海神と併せ、4中学校区となった。 また、平成26年度は行田・小室中学校区が加わる予定である。
中学校区を単位に、学校を支援するボランティアで組織する「学校支援地域本部」を認定し、交付金を交付します。								
3-2-1-2 郷土資料館改修事業 (郷土資料館)	平成26年度中の工事完了 (平成27年度中の工事完了)	設計完了	設計完了	耐震改修・エレベーター等設置工事完了	直流電源装置更新・受水槽改修工事完了	耐震改修・エレベーター等設置工事完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、予定どおり郷土資料館のエレベーター設置工事、展示室改修工事の設計を終了した。平成26年度は小中学校の耐震補強工事を優先するため、最低限の工事のみ行い、耐震改修工事等については平成27年度以降に実施予定である。	
耐震診断の結果を受け、郷土資料館の耐震改修工事を実施します。併せて、エレベーター設置工事、展示室改修工事、外壁改修工事、設備改修工事を実施します。								
3-2-2-1 総合型地域スポーツクラブ育成事業 (生涯スポーツ課)	総合型地域スポーツクラブ新規設立数	0 団体	0 クラブ	1 団体	変更なし	1 団体	0 クラブ	【対象外】 法典・丸山地区の設立希望団体において、平成25年度は設立準備役員会や設立準備の打ち合わせ会(2回)を開催。名称や活動内容、活動計画を決定するとともに、他のクラブの視察などを実施した。 なお、上記のとおり、平成25年度末での設立希望は1団体である。今後、希望する団体があっても、2年間での設立は困難と判断したことから、平成27年度の計画数を変更した。
身近な地域で、子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々が、それぞれの志向・レベルにあわせて参加できる、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブの設立と運営を支援します。								
3-2-2-3 運動公園整備事業(2種公認) (生涯スポーツ課)	平成27年度第2種陸上競技場公認の更新	事前調査	事前調査	第2種陸上競技場公認整備	変更なし	公認認定	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおりに、平成25年度は事前調査が完了した。今後も平成27年度の公認認定に向けて事業を進める。
陸上競技場が、第2種公認陸上競技場として公式競技ができるよう認定施設の維持及び設備、用具の改修を実施します。(2種公認有効期間(5年間)は、平成27年7月有効期間終了)								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
3-2-2-3 運動公園整備事業<再掲> (公園緑地課 生涯スポーツ課)	計画にもとづく公園 の再整備	プール設計完了・体 育館工事着手	プール設計完了・体 育館工事着手	プール工事着手・体 育館工事完了	体育館工事完了	プール工事完了	プール工事着手	【予定(計画)どおり進んでいる】 今後は、体育館耐震工事の完了を目指す。また、プ ール改修に伴い、新設駐車場の用地確保が急務であ る。プール改修及び駐車場新設整備の内容を検討し 事業を進めていく。 【平成26・27年度】 プール本体工事に着手するに当たり、管理棟の新築 工事箇所にある既存浄化槽が支障となるため、平成 26年度に浄化槽工事を実施する必要があったことか ら、プール工事の着手を平成27年度に変更する。
施設の老朽化、利用者のニーズの多様化などにより、魅力 の低下を招いているため、市民の要望を取り入れながら老 朽化した公園のリニューアルを図り、魅力ある公園として再 生していきます。								
3-2-2-3 行田多目的広場整備事業 (非常時活動拠点整備事業) (生涯スポーツ課)	平成28年度開設予 定 (平成28年度開設)	用地取得・解体造成 工事完了	用地取得と解体工事 は完了、造成工事は 工期延伸	工事着手	変更なし	工事完了	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 造成工事は工期が延伸しているが、関係各課と調整を 図りながら、平成28年度の開設に向け事業を進める。
国より取得予定の行田の国家公務員船橋体育センター跡 地にサッカー等ができる多目的広場(大規模災害時の非常 時活動拠点としても活用)を整備します。								
3-3-2-1 特別支援学級・通級指導教室整備 事業(小学校) (総合教育センター)	特別支援学級設置 校数・通級指導教室 設置校数の合計(通 級サテライト教室を 除く) (特別支援学級新設 校数・通級指導教室 新設校数の合計(通 級サテライト教室を 除く))	2 校	2 校	1 校	2 校	2 校	1 校	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおり進捗している。 平成27年度に予定していた高根台第3小の開設を、入 学希望者多数のため平成26年度に前倒しし、校数を 変更した。 今後も児童数の推移等を勘案し、計画的に開設を進 めていく。
障害のある児童・生徒の増加しつつある現状を踏まえ、障 害のある子もない子も地域でともに学べるよう特別支援学 級及び通級指導教室を開設します。平成25年度には県の 視覚障害通級サテライト教室(高根東小学校)が開設されま す。								
3-3-2-1 特別支援学級・通級指導教室整備 事業(中学校) (総合教育センター)	特別支援学級設置 校数・通級指導教室 設置校数の合計 (特別支援学級新設 校数・通級指導教室 新設校数の合計)	2 校	2 校	2 校	1 校	1 校	2 校	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおり進捗している。 平成26年度に予定していた豊富中の開設を、就学指 導委員会や就学相談等を通し入学希望者数を調査し た結果、平成27年度に延期し、校数を変更した。 今後も生徒数の推移等を勘案し、計画的に開設を進 めていく。
障害のある児童・生徒の増加しつつある現状を踏まえ、障 害のある子もない子も地域でともに学べるよう特別支援学 級及び通級指導教室を開設します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
3-3-2-3 小学校耐震改修事業 (施設課)	改修・改築済棟数 (当該年度改修・改築済棟数)	34 棟	25 棟	35 棟	変更なし	29 棟	36 棟	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度は入札不調により実績が計画棟数を下回ったため、次年度以降に入札不調分を繰り下げる。また、各年度の工事棟数・各学校ごとの工事量の見直しをはかり、工事棟数の平準化を行っていく。
耐震診断の結果にもとづき、校舎及び屋内運動場の耐震補強改修工事及び改築工事を実施し、平成27年度中の工事完了をもって、すべての校舎等の耐震化完了を目指します。(設計・判定委託、工事)								
3-3-2-3 中学校耐震改修事業 (施設課)	改修・改築済棟数 (当該年度改修・改築済棟数)	18 棟	14 棟	20 棟	21 棟	15 棟	19 棟	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度は入札不調により実績が計画棟数を下回ったため、次年度以降に入札不調分を繰り下げる。また、各年度の工事棟数・各学校ごとの工事量の見直しをはかり、工事棟数の平準化を行っていく。
耐震診断の結果にもとづき、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事及び改築工事を実施し、平成27年度中の工事完了をもって、すべての校舎等の耐震化完了を目指します。(設計・判定委託、工事)								
3-3-2-3 特別支援学校耐震改修事業 (施設課)	改修済棟数 (当該年度改修・改築済棟数)	1 棟	1 棟	1 棟	変更なし	1 棟	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 引き続き、平成27年度中の工事完了をもって、すべての棟の耐震化完了を目指す。
耐震診断の結果にもとづき、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を実施し、平成27年度中の工事完了をもって、すべての校舎等の耐震化完了を目指します。(設計・判定委託、工事)								
3-3-2-3 市立高等学校耐震改修事業 (市立船橋高等学校)	改修済棟数 (当該年度新築・改修済棟数)	2 棟	0 棟	0 棟	2 棟	0 棟	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいない】 校舎耐震補強工事が入札不調となり、平成25年度実績はなし。授業に支障がないよう考慮しながら、平成26年度中に校舎の耐震化の完了を目指す。なお、第3体育館については、現地での建替えにより整備を行う。
耐震診断の結果にもとづき、平成25年度中に普通教室棟、特別教室棟南側2棟の耐震改修工事を実施します。なお、第3体育館については、建替用地の検討を行ったのち整備を実施します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
3-3-2-3 小学校校舎及び設備等改修事業 (施設課)	改修校数	14 校	13 校	11 校	1 校	9 校	0 校	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、校舎耐震補強工事と同時発注分の外壁改修工事・屋上防水改修工事が1校入札不調となったが概ね予定通りに進捗した。今後耐震補強工事を優先する為、平成26年度・27年度の改修校数を減らし、校舎耐震化が完了する平成28年度以降に繰り下げて事業を進めていく。
老朽化した校舎の外壁改修工事、屋上防水改修工事及びトイレ改修工事を実施します。(設計・工事)								
3-3-2-3 中学校校舎及び設備等改修事業 (施設課)	改修校数	8 校	8 校	9 校	0 校	7 校	0 校	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、着実に進捗したが、校舎耐震補強工事が入札不調となり、今後耐震補強工事を優先する為、平成26年度・27年度の改修は行わず、校舎耐震化が完了する平成28年度以降に繰り下げて事業を進めていく。
老朽化した校舎の外壁改修工事、屋上防水改修工事及びトイレ改修工事を実施します。(設計・工事)								
3-3-2-3 公立学校のエレベーター設置 (総合教育センター)	整備校数	0 校	0 校	2 校	5 校		1 校	【対象外】 平成25年度は、小室小・旭中の調査設計をし、平成26年度に設置工事を行う。平成26年度～28年度の実施計画より増改築工事に併せてエレベーターを設置する学校も加えた為、設置校数が平成26年度は2校から5校へ、27年度は0校から1校へ増加した。
校舎のバリアフリー化を進めるため、身体に障害のある児童生徒がエレベーター未設置校に就学・在籍する場合は、校舎の構造やエレベーター設置可能性調査の結果により、設置します。								
3-3-2-3 小学校校舎増築事業 (施設課)	増築工事完了済棟数	1 棟	1 棟	1 棟	変更なし		2 棟	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は三咲小の増築が完了し供用開始した。平成27年4月には坪井小の供用開始を目指す。平成27年度の計画に法典西小、旭中の校舎増築計画を追加する。これに伴い、平成26年度～平成28年度実施計画では、事業名を「小・中学校校舎増築事業」に変更している。
児童の増加に伴い、教室等が不足するため校舎の増築を行います。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
3-3-2-3 中学校給食棟の増築 (保健体育課)	増築工事完了済棟数	0 棟	0 棟	2 棟	1 棟	3 棟	3 棟	【対象外】 平成25年度は、坪井中学校増築工事(1年目)を実施した。 平成26年度は、引き続き坪井中学校増築工事(2年目)を行い、年度内で完了する。若松中は、当初単年度工事を予定していたが、2ヶ年工事に変更した為、増築工事が完了が平成27年度に延期。 平成27年度は、若松中(2年目)に加え、旭中・船橋中のランチルーム増築工事(単年度)を追加し、3棟へ変更した。 今後の計画については、生徒数推計等を注視するとともに運用基準を設けて、本事業を進めていく。
生徒数増加に伴い、ランチルーム及び給食調理室等の増築を行います。								
3-3-2-6 子ども・子育て支援新制度準備事業<再掲> (子ども政策課・保育課・保育施設整備課・児童育成課・学務課)	平成27年4月1日からの子ども・子育て支援新制度開始に向けた取り組みの実施	ニーズ調査実施	ニーズ調査実施 (調査報告書作成)	事業計画策定	変更なし	新制度に基づくサービス開始	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度においては、ニーズ調査を実施し、調査報告書を作成した。 現在、この調査結果を踏まえ、事業計画に記載する「量の見込み」や「確保方策」の検討を進めており、平成26年度中に事業計画を策定する予定である。
社会保障と税の一体改革に伴い、平成27年度から幼稚園・保育所・認定こども園共通の給付が開始されるなど子ども・子育て支援新制度が始まる予定です。質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実を目指し、新制度開始に向け準備を進めます。								
3-3-3-4 若者就労支援事業 (商工振興課)	継続的に支援した者のうち、6か月後に就職等進路が決定した者の数(就職、進学、職業訓練受講等)	90 人	91 人	100 人	130 人	110 人	130 人	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年4月に厚生労働省より認定を受け、6月に正式に施設開所し支援を開始した。 目標値を進路決定者数90名と設定し支援にあたり、実績値として91名の進路を決定することができた。
若者を取り巻く就業環境の改善を図るため、ジョブカフェちばで実施する就業支援事業へ助成を行います。また、若年無業者に対して、ハローワーク、ジョブカフェ、保健所と連携を図りながら、基本的な能力の養成だけに留まらず、職業意識の啓発や社会適応支援を含む包括的な支援を実施します。実施にあたっては若者の支援に積極的に取り組むNPO法人等の民間団体に委託します。								
3-4-1-1 姉妹都市等記念事業 (秘書課国際交流室)	平成26年度 記念事業開催 (市民主体の交流事業参加者数)			記念事業開催	1,000 人			【対象外】 平成26年度の記念事業実施に向け姉妹・友好都市や関係団体と協議を図りながら進める。 目標を変更し具体化した。 なお、平成28年度は、ヘイワード市との30周年を予定している。
オーデンセ市との姉妹都市提携25周年、西安市との友好都市提携20周年を記念する事業を行います。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
4-1-1-1 製品ブランド推進事業 (商工振興課)	ふなばし産品ブランド認証産品数の増加・PR及び朝市の定期開催	ふなばし産品ブランド認証(工業製品等)10品	ふなばし産品ブランド認証(工業製品等)4品	ふなばし産品ブランド認証品PR21品	ふなばし産品ブランド認証品PR15品	ふなばし産品ブランド認証(加工食品)	ふなばし産品ブランド認証(加工食品)	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、工業・工芸品を募集したところ、32製品の応募があり、船橋らしき、製法・技法などから厳正に審査した結果、4製品をふなばし産品ブランドに認証した。また、広報ふなばしや百貨店での催事販売等で、工業・工芸品4製品、加工食品11製品の合計15製品をPRした。 朝市は5回開催した。
農水畜産物を使用した加工食品、工業製品等の「船橋発」の産品を朝市・イベント等を通じてPRし、船橋産品ブランドの確立を目指します。		ふなばし産品ブランド認証品PR11品	ふなばし産品ブランド認証品PR15品	朝市開催5回	朝市開催5回	朝市開催5回	朝市開催5回	
4-1-1-1 農産物ブランド推進事業 (農水産課)	ブランド化の推進や販売促進のために市が開催又は参加するイベントの回数	5回	6回	5回	6回	5回	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成24年度に船橋にんじんが特許庁より地域商標登録の認可を受けたことから、市内外に向けて認知度アップを図った。 今後は同様に船橋のなしの地域商標登録をめざし、平成26年度はPRイベントを1回増やす。 (平成25年度の実績内訳) ①船橋駅北口即売会において、小松菜・枝豆・にんじんを含む農産物をPR ②大井競馬場における船橋にんじんのPR ③日本橋イベントスペースにおける船橋のなしのPR ④ららぽーとにおけるなし味自慢コンテストの開催とPR ⑤農水産祭において船橋産農産物のPR ⑥百貨店における船橋産農産物のPR
なし、にんじん、小松菜、枝豆など、有力な船橋農産物のブランド化や認知度を高めることを目指し、市内はもとより県内・県外に船橋産の農産物の安心・安全をPRします。								
4-1-1-1 水産物ブランド推進事業 (農水産課)	ブランド化の推進や販売促進のために市が開催又は参加するイベントの回数	12回	11回	12回	変更なし	12回	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 水産物直売所と直売カーを設置し、直売所では水産物のPRを行うとともに、直売カーで各地のイベントに出店し、水産物のPRに努めた。なお、平成25年度は、7月頃に直売所と直売カーが完成したため、目標達成は出来なかったが、平成26年度も引き続き1回程度のイベントへの出店を見込んでいる。 (平成25年度の実績内訳) ①直売所オープン式典での水産物のPR(1回) ②市民祭りでの水産物のPR(1回) ③農水産祭での水産物PR(1回) ④直売カーでの朝市等各種イベントへの出店(8回)
スズキ、アサリ、ホンピノス貝、海苔など、有力な船橋水産物のブランド化や認知度を高めることを目指し、市内はもとより、県内・県外に船橋産の水産物の魅力をPRします。								
4-1-1-2 ふなばし三番瀬海浜公園活用事業 (政策企画課・商工振興課・環境保全課)	平成29年度供用開始に向けた整備	業者選定	公募型提案競技(プロポーザルコンペ)により受託候補者の特定を行った。	基本実施設計の完了	変更なし	予定整備の完了	工事着手	【予定(計画)どおり進んでいる】 予定どおり、公募型提案競技(プロポーザルコンペ)を実施し、基本・実施設計委託の受託候補者の特定を行った。 平成26年度は、受託候補者と契約を行い、基本・実施設計を進めていく。
平成24年度に策定した基本構想にもとづき、ふなばし三番瀬海浜公園のプール跡地を中心としたエリアを、市民が親しみながら干潟の生物や水鳥の観察等、環境学習が行えるような体験学習型の施設を整備します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
4-1-2-1 新商工業振興ビジョン策定 (商工振興課)	平成27年度に新商工業振興ビジョンを策定	商工業者意見聴取	商工業者意見聴取	経済センサス分析	変更なし	新ビジョン策定完了・公表	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成26年5月に第1回船橋市商工業戦略プラン策定委員会を開催した。「商工業の現状」「事業者ニーズ」「消費者ニーズ」を把握するため基礎調査を実施しており、計画通り進んでいる。
今後の社会動向を踏まえ、商工業を中心とする本市産業の将来方向のイメージとそれを実現する振興方策を明らかにした指針を策定します。								
4-1-2-1 商店街活性化支援事業 (商工振興課)	商店街活性化支援事業補助金の補助件数 (商店街活性化支援事業補助金の新規補助件数)	15 件	19 件	16 件	20 件	17 件	21 件	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、空き店舗に入る業者とリフォームする生鮮三品事業者が増えたことと、一店逸品運動など個店の魅力づくりに取り組む事業が増えているため、件数が増加した。また、空き店舗対策事業は3年間補助する事業のため、各年度の目標を新規補助件数とした。
商店街を消費者・地域との交流の場や新たな地域コミュニティ創出の場とするため、商工会議所・商業団体との連携を図りながら商店街が行う事業に助成を行い、活性化を図ります。								
4-1-3-2 商店街活性化支援事業<再掲> (商工振興課)	商店街活性化支援事業補助金の補助件数 (商店街活性化支援事業補助金の新規補助件数)	15 件	19 件	16 件	20 件	17 件	21 件	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、空き店舗に入る業者とリフォームする生鮮三品事業者が増えたことと、一店逸品運動など個店の魅力づくりに取り組む事業が増えているため、件数が増加した。また、空き店舗対策事業は3年間補助する事業のため、各年度の目標を新規補助件数とした。
商店街を消費者・地域との交流の場や新たな地域コミュニティ創出の場とするため、商工会議所・商業団体との連携を図りながら商店街が行う事業に助成を行い、活性化を図ります。								
4-1-3-3 卸売市場経営展望策定事業 (地方卸売市場 総務課) [企業会計]	平成25年度までに経営展望を策定し、行動計画の進捗状況を管理 (行動計画の進捗管理、再整備基本計画の策定)	卸売市場基本方針にもとづく行動計画の設定	卸売市場基本方針にもとづく行動計画の設定	行動計画の進捗状況の管理	行動計画の進捗管理 市場施設再整備基本計画の策定	行動計画の進捗状況の管理	行動計画の進捗管理	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成24年度に設定した基本方針と平成25年度に設定した行動計画をもとに、平成26年4月「船橋市地方卸売市場経営展望」を策定、公表した。平成26年度は市場施設再整備基本計画を策定する。
流通形態の多様化などによる市場をとおさない取引の増大等、卸売市場を取り巻く環境が厳しい状況の中、卸売市場の位置付け、役割等を踏まえ、今後どのような市場を目指すのかを市場関係者と協議しながら、平成26年4月に地方卸売市場へ転換する予定であることも踏まえ、市場運営の基本方針と行動計画を内容とする経営展望を策定します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
4-1-3-3 卸売市場施設整備事業[企業会計] (地方卸売市場 総務課)	計画にもとづく施設整備実施	予定施設の工事完了	予定施設の工事完了	予定施設設計・工事の完了	変更なし	予定施設の工事完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は計画通り予定施設の工事を完了した。 平成26年度以降も計画的に整備を実施していく。
消費者に生鮮食料品等を安定的に供給するため、緊急性、経営展望の策定等を踏まえ施設の整備・改修を計画的に行います。								
4-1-5-1 若者就労支援事業<再掲> (商工振興課)	継続的に支援した者のうち、6か月後に就職等進路が決定した者の数(就職、進学、職業訓練受講等)	90	91	100	130	110	130	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年4月に厚生労働省より認定を受け、6月に正式に施設開所し支援を開始した。 目標値を進路決定者数90名と設定し支援にあたり、実績値として91名の進路を決定することができた。
若者を取り巻く就業環境の改善を図るため、ジョブカフェちばで実施する就業支援事業へ助成を行います。また、若年無業者に対して、ハローワーク、ジョブカフェ、保健所と連携を図りながら、基本的な能力の養成だけに留まらず、職業意識の啓発や社会適応支援を含む包括的な支援を実施します。実施にあたっては若者の支援に積極的に取り組むNPO法人等の民間団体に委託します。		人	人	人	人	人	人	
4-2-1-3 ふるさと農園整備事業 (農水産課)	ふるさと農園区画数(新設)	98	64	70	変更なし	70	変更なし	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度に三咲ふるさと農園を開園した。広い農地が確保できたため、当初計画の70区画から98区画として計画変更したが、その後、近隣住民への配慮から一区画当たりの面積を広くしたため、区画数が64区画となった。 しかしながら、新規開園数については計画どおりの園数を確保しており、事業全体としては予定通り進捗している。
市内の遊休農地の解消や市民に対しレクリエーションの場の提供をするとともに、農業者と消費者の交流を深め、都市型農業の保全を図ります。		区画	区画	区画		区画		
4-3-1-1 消費者被害防止啓発強化事業 (消費生活課)	啓発及び関係機関との連携事業実施回数	138	160	138	変更なし	138	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成24年12月に施行された消費者教育の推進に関する法律に基づき、小・中学生向けの消費者教育の推進を図った。今後も引き続き、消費者教育の充実の機会を拡大し、市民への消費生活に関する知識の普及を行う。
悪質・複雑化している消費者被害防止に向け、若者から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした啓発を強化します。		回	回	回		回		

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
5-1-1-1 総合都市交通計画の策定 (都市計画課)	平成26年度の総合都市交通計画策定に向けた取り組みの実施							【予定(計画)どおり進んでいる】 データ解析及び現況分析等を実施し、平成26年度に策定する総合交通計画の基となる報告書の作成が完了した。
新たな時代に対応した安全で快適な交通体系の実現を図るため、都市計画道路の検証も含めた本市の道路網を体系的・効率的に整備実現していくための道路整備のあり方や、公共交通の利用促進等を踏まえた総合都市交通計画を策定します。		データ解析及び現況分析等の実施	データ解析及び現況分析等を実施	総合都市交通計画の策定	変更なし			
5-1-1-2 鉄道駅エレベーター等整備補助事業 (都市計画課交通政策室)	バリアフリー化を実施する駅数(上段:段差解消、下段:転落防止)	0 駅	0 駅	3 駅	2 駅	0 駅	1 駅	【予定(計画)どおり進んでいる】 段差解消については市内35駅中32駅で、転落防止については市内35駅中17駅で整備済みとなっている。今後も国・鉄道事業者とともにバリアフリー化を進めていく。 なお、国の動向や鉄道事業者の整備計画により、目標数を変更した。
鉄道駅の移動等円滑化(段差の解消、転落防止設備の整備、誘導用ブロックの整備、障害者対応型便所の設置等)を実施する鉄道事業者に対して、事業費の補助を行い、鉄道駅のバリアフリー化の促進を図ります。		3 駅	3 駅	3 駅	1 駅	2 駅	6 駅	
5-1-1-2 歩道等整備事業 (道路建設課)	歩道の延長 (歩行空間の整備や駅前広場の整備、踏切安全対策など、計画に基づく工事・設計の完了)	1,445 m	1,692 m	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 歩道の整備については平成26年度から別の事業において実施するものとし、平成26年度整備計画を策定、平成27年度から整備計画に基づき整備を進める予定。
歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、歩道整備や踏切道拡幅整備、バスベイ整備、自転車走行空間整備、駅前広場整備を進めます。								
5-1-1-3 景観行政推進事業 (都市計画課)	「船橋市景観計画」にもとづく景観形成重点区域や景観重要建造物・樹木の指定、ガイドラインの策定などの取り組み	景観形成ガイドライン(公共サイン)課題整理	景観形成ガイドライン(公共サイン)課題整理	景観形成ガイドライン(公共サイン)策定	変更なし	景観形成ガイドライン課題整理	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画通り公共サインに係る課題の整理が完了した。結果をもとに平成26年度にガイドラインを策定する。
「船橋市景観計画」にもとづく緩やかな規制・誘導を図るとともに、「景観重要建造物・樹木の指定」をはじめとする各種景観施策の実施により、良好な景観の保全と形成を図ります。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
5-2-1-1 ふなばし三番瀬海浜公園活用事業（政策企画課・商工振興課・環境保全課） <再掲>	平成29年度供用開始に向けた整備	業者選定	公募型提案競技(プロポーザルコンペ)により受託候補者の特定を行った。	基本実施設計の完了	変更なし	工事着手	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 予定どおり、公募型提案競技(プロポーザルコンペ)を実施し、基本・実施設計委託の受託候補者の特定を行った。 平成26年度は、受託候補者と契約を行い、基本・実施設計を進めていく。
平成24年度に策定した基本構想にもとづき、ふなばし三番瀬海浜公園のプール跡地を中心としたエリアを、市民が親しみながら干潟の生物や水鳥の観察等、環境学習が行えるような体験学習型の施設を整備します。								
5-3-1-1 歩道等整備事業<再掲>（道路建設課）	歩道の延長	1,445 m	1,692 m	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 歩道の整備については平成26年度から別の事業において実施するものとし、平成26年度整備計画を策定、平成27年度から整備計画に基づき整備を進める予定。
歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、歩道整備や踏切道拡幅整備、バスベイ整備、自転車走行空間整備、駅前広場整備を進めます。 (歩行空間の整備や駅前広場の整備、踏切安全対策など、計画に基づく工事・設計の完了)								
5-3-1-1 コミュニティ道路等整備事業（道路建設課）	ゾーン30の整備箇所数	4 地区	5 力所	1 地区	2 地区	4 地区	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 ゾーン30については、地元住民や警察と連携して事業を進めている。 地区の選定は、警察主導で決められる。
交通事故の減少のために、地域住民や警察と連携して策定する「ゾーン30整備計画」にもとづいた整備を進めます。また、歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、コミュニティ道路の整備を進めます。								
5-3-1-2 歩道等整備事業<再掲>（道路建設課）	歩道の延長	1,445 m	1,692 m	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	1,000 m	計画に基づく工事・設計の完了	【予定(計画)どおり進んでいる】 歩道の整備については平成26年度から別の事業において実施するものとし、平成26年度整備計画を策定、平成27年度から整備計画に基づき整備を進める予定。
歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、歩道整備や踏切道拡幅整備、バスベイ整備、自転車走行空間整備、駅前広場整備を進めます。 (歩行空間の整備や駅前広場の整備、踏切安全対策など、計画に基づく工事・設計の完了)								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況						
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後							
5-3-1-2 自転車等駐車場整備事業 (都市整備課)	自転車等駐車対策 に向けた、整備計画 の策定 (自転車等駐車対策 に向けた整備計画 の策定および計画 に基づく事業の実 施)	計画策定(1年目)	実施調査・整備計画 (案)の作成	計画策定(2年目)	変更なし	公表	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は、駐輪場利用者へのアンケート調査・買 い物目的の自転車利用者へのヒアリング・自転車利用 に関する市民意識調査を行い、市内鉄道駅周辺にお ける駐輪場整備計画をはじめ、各施策からなる自転車 等駐車対策に関する総合計画(案)の作成を行った。						
放置自転車をなくし、駅周辺の環境改善を図るために駐輪 場の整備を進めるとともに、耐震性が不足している駐輪場 の耐震補強工事を実施します。また、今後の駐輪場整備を 計画的に進めるために、市内鉄道駅における整備計画を含 めた自転車等駐車対策に関する総合計画を策定します。														
5-3-1-3 都市計画道路整備事業 (街路課)	都市計画道路の整 備延長	397	m	372	m	534	m	236	m	370	m	525	m	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 用地買収が概ね予定どおり進んだため、道路の整備 も進んだ。 今後、事業効果が発現するような用地取得進行管理 を行い、整備(工事)を推進する。 用地買収の進捗状況等から目標を変更した。
現在整備中の路線について整備を進めるとともに、新たに、 3・4・25号線(ブックオフ高根木戸店付近、高根木戸近隣 公園～清水山バス停)、3・5・31号線(京成踏切～葛飾中 学校)、3・4・20号線(東図書館西側交差点～ファミリ ーマーケット)の整備に着手します。														
5-3-1-4 道路改良事業 (道路建設課)	道路改良工事の整 備延長	1,493	m	1,244	m	1,200	m	変更なし	1,200	m	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成26年度より、市道00-071号線(都市計画道路3・ 3・7号線)の工事に着手する。		
市民の日常生活に密着した道路の利便性の向上及び、車 両交通の改善、渋滞の緩和及び歩行者の安全性を確保し、 生活環境の向上を図るため、市道の排水施設の新設や道 路線形の改良及び拡幅整備を行います。また、補助幹線道 路の内、生活道路と幹線道路をつなぐ道路の新設を進めま す。														
5-3-1-4 橋りょう維持・耐震化事業<再掲>(道路建設課)	市内重要橋りょうの 落橋防止(耐震化) 工事完了橋りょう数	1	橋	0	橋	0	橋	1	橋	1	橋	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいない】 耐震補強事業については、当初平成25年度完成予定 の1橋について、JR東日本にて施工方法について見 直しを行っており遅れが生じている。 また、もう1橋については、当初より平成25～27年度の 3箇年で完成の予定であり、予定通り進んでいる。 長寿命化修繕事業については、予定通り平成25年度 から修繕工事に着手している。	
市内の重要橋りょう21橋の耐震補強工事を随時実施してい きます。また、橋りょう233橋の長寿命化修繕計画を平成25 年度に公表し、この計画にもとづく長寿命化修繕を平成25 年度から実施します。														

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
5-3-1-4 橋りょう整備事業 (道路建設課)	平成28年度工事完了に向けた取り組みの実施 (平成34年度工事完了に向けた取り組みの実施)	実施設計完了	実施設計契約済 (継続中)	工事着手	変更なし	工事(2年目)	変更なし	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 実施設計は平成25年度中に完了予定であったが、工法等の検討に期間を要したため、平成26年9月30日まで延長している。
阪神淡路大震災以降の橋りょう点検により、架け替えが必要と判断されている老朽化した橋りょうの架け替えを行います。新船橋橋については平成26年から28年度に架け替え工事を行います。								
5-3-1-4 交差点整備事業 (道路建設課)	交差点改良工事完了箇所数	1 力所	1 力所	0 力所	変更なし	0 力所	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度から薬円台交差点と前後の2交差点の設計を行っており、平成27年度からの整備開始を予定している。
歩行者の安全確保、車両交通の円滑化、良好な生活環境の維持を図るために、交差点の改良を行います。								
5-3-1-5 コミュニティ道路等整備事業 <再掲> (道路建設課)	ゾーン30の整備箇所数	4 力所	5 力所	1 力所	2 地区	4 力所	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 ゾーン30については、地元住民や警察と連携して事業を進めている。 地区の選定は、警察主導で決められる。
交通事故の減少のために、地域住民や警察と連携して策定する「ゾーン30整備計画」にもとづいた整備を進めます。また、歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、コミュニティ道路の整備を進めます。								
5-3-2-1 公共交通不便地域支援事業 (都市計画課交通政策室)	公共交通不便地域本格運行等の箇所数	3 力所	3 力所	3 力所	変更なし	3 力所	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 「公共交通不便地域解消へ向けて(バス導入編)」の仕組みに則り、八木が谷・丸山・田喜野井の3地区において、小型バス等による定時定路線型バスの運行を実施した。
市が定めた公共交通不便地域において、地域住民組織からの要請にもとづき乗合事業者が実施する、公共交通不便を解消するための事業(運行)に対して補助金を交付します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況						
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後							
5-4-1-1 JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ (都市整備課) 整備事業	平成27年度供用開始に向けた、設計・工事の実施 (JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ等の整備)				設計完了	工事完了	整備完了	【対象外】 平成25年度は、JR東日本・船橋警察署・バス事業者など関係機関との協議を行い、事業を進める準備を行った。						
JR船橋駅改良計画による南口駅ビル建設にあわせて、フェイスビルからJR船橋駅へのペDESTリアンデッキと西武百貨店を結ぶペDESTリアンデッキを整備します。														
5-4-1-1 都市計画道路整備事業<再掲> (街路課)	都市計画道路の整備延長	397	m	372	m	534	m	236	m	370	m	525	m	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 用地買収が概ね予定どおり進んだため、道路の整備も進んだ。 今後、事業効果が発現するような用地取得進行管理を行い、整備(工事)を推進する。 用地買収の進捗状況等から目標を変更した。
現在整備中の路線について整備を進めるとともに、新たに、3・4・25号線(ブックオフ高根木戸店付近、高根木戸近隣公園～清水山バス停)、3・5・31号線(京成踏切～葛飾中学校)、3・4・20号線(東図書館西側交差点～ファミリーマート)の整備に着手します。														
5-4-1-1 飯山満地区土地区画整理事業 (飯山満地区区画整理事務所)	各年度の使用収益開始面積	0.5	ha	0.3	ha	2.5	ha	変更なし	2.6	ha	変更なし	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 事業見直し期間中であるが、根幹的な整備(都市計画道路・駅前広場等)は行っており、平成25年度末に飯山満駅周辺宅地、区画道路を供用開始した。 事業の見直しについては、平成25年度に見直し計画に基づき事業認可変更を行い、平成26年度からは、見直し計画に基づき事業を施行していく予定であったが、地権者の皆様と可能な限り丁寧な協議を行ったところ、進捗状況が当初工程から約1年遅れたため、平成25年1月に平成28年3月末まで事業期間延伸の変更を行い、現在、見直し事業計画を策定したところである。今後、事業計画変更手続きを行う。		
社会情勢の変化等により事業が大幅に遅れているため、当初の事業完了予定であった平成22年度から、3年間の暫定施行期間延伸を行い、平成25年度までの3年間に於いて計画設計図等の大幅な見直しを行っています。この内容にもとづき平成25年度に第4回事業計画変更を行い、その後、早期の事業完了を目指します。														
5-4-1-2 飯山満地区土地区画整理事業<再掲> (飯山満地区区画整理事務所)	各年度の使用収益開始面積	0.5	ha	0.3	ha	2.5	ha	変更なし	2.6	ha	変更なし	【あまり予定(計画)どおり進んでいない】 事業見直し期間中であるが、根幹的な整備(都市計画道路・駅前広場等)は行っており、平成25年度末に飯山満駅周辺宅地、区画道路を供用開始した。 事業の見直しについては、平成25年度に見直し計画に基づき事業認可変更を行い、平成26年度からは、見直し計画に基づき事業を施行していく予定であったが、地権者の皆様と可能な限り丁寧に協議を行ったところ、進捗状況が当初工程から約1年遅れたため、平成25年1月に平成28年3月末まで事業期間延伸の変更を行い、現在、見直し事業計画を策定したところである。今後、事業計画変更手続きを行う。		
社会情勢の変化等により事業が大幅に遅れているため、当初の事業完了予定であった平成22年度から、3年間の暫定施行期間延伸を行い、平成25年度までの3年間に於いて計画設計図等の大幅な見直しを行っています。この内容にもとづき平成25年度に第4回事業計画変更を行い、その後、早期の事業完了を目指します。														

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
5-4-1-2 小室土地区画整理事業の促進 (都市整備課)	平成26年度事業完了							【予定(計画)どおり進んでいる】 工事の進捗により合計3回、事業地内用地の地権者への使用収益の開始を部分的に行ったが、平成25年度組合による工事が完了したことから、平成26年4月に区域全体の使用収益を開始した。
現在施行中の小室土地区画整理事業について、施行する組合に対し助成を行うことにより、事業を円滑に促進させ、健全な市街地の形成を図ります。		組合による工事が完了	組合による工事が完了	組合による換地処分・組合解散	変更なし			
6-4-1-1 業務システムのオープン化事業 (情報システム課)	汎用機システムをオープン化した業務数(税総合・財務会計システム以外)	4 業務	4 業務	2 業務	変更なし			【予定(計画)どおり進んでいる】 市営住宅管理システム、学齢簿システム、放課後ルームシステム、霊園・霊堂管理システムの4システムをオープン化した。 目標については、財務会計システムの導入が完了したため変更している。
汎用機で運用している基幹系業務について、情報システム最適化計画にもとづいてオープン化を図るため、要件定義、システム設計を行います。また、新システムへの移行作業等を行います。	(汎用機システムをオープン化した業務数(税総合システム以外))							
6-4-1-1 税総合システムの導入事業 (情報システム課 税制課)	平成27年度にシステムのテストを開始							【予定(計画)どおり進んでいる】 税務システム開発監理支援業者の支援もあり、予定通り進捗している。目標については、業者選定後のスケジュールに合わせて見直しを実施した。
情報システム最適化計画にもとづくオープン化の一環として、汎用機で運用している基幹系業務のうち、課税・徴収事務処理業務のシステムを再構築し、効率的な業務を実施します。	(平成28年度よりシステムの本稼働)	税総合システムの調達	税総合システムの調達	税総合システムの開発、設計等の完了	税総合システムの設計等の完了	税総合システムの開発、テスト等の完了	変更なし	
6-4-1-1 財務会計システムの導入事業 (情報システム課 財政課)	平成25年度から運用開始							【予定(計画)どおり進んでいる】 予定どおり平成26年度予算編成事務より本稼働した。今後も、財務会計システムを使用し、予算編成事務を実施する。
情報システム最適化計画にもとづくオープン化の一環として、新たな財務会計システムを導入します。		予算編成作業から稼働	予算編成作業から稼働		—		—	

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
7-1-2-1 業務継続計画(BCP)の策定支援 事業 (行政管理課)	平成25年度までに、災害対応、健康危機対応の業務継続計画の策定を支援	業務継続計画(2種類)を策定	計画策定のための事業選定等を中心に支援		—		—	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 両計画とも庁内検討及び調整に時間を要したため、平成26年度中の策定となる予定。 いずれの計画においても見直しを継続的に行う必要があり、引き続き支援していく。
さまざまな危機的状況を想定した業務継続計画(BCP)等の策定に係る全庁的な取り組みを推進します。								
7-1-2-2 財務会計システムの導入事業 <再掲> (財政課・政策企画課・行政管理課)	平成25年度から運用開始	実施計画・予算編成作業から稼働	実施計画・予算編成作業から稼働	実施計画進捗状況・財政情報等を市のHP等に掲載	—	実施計画進捗状況・財政情報等を市のHP等に掲載	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は平成26年度から開始する行政評価の実施に向け準備を行い、実施計画システムを稼働させた。 また、システムを用いて実施計画・予算編成作業を行うことができた。
情報システム最適化計画にもとづくオープン化の一環として、新たな財務会計システムを導入します。その際、実施計画・行政評価と、予算・決算、施策の進捗状況や財政情報の開示までが一連の流れで行える形にすることにより、PDCAサイクルの確立及び市民にわかりやすい情報の開示を目指します。								
7-1-2-2 小学校給食等の委託化事業 (保健体育課)	委託実施校数	1 校	0 校	3 校	2 校	2 校	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいない】 平成25年度は、特別支援学校金堀校舎を計画していたが、調理室の改修に期間を要し委託実施には至らず、平成26年度へ変更。平成26年度に委託を予定していた3校のうち、船橋小は予定通り10月から委託開始し、前原小・葛飾小は、小中学校耐震補強工事等を優先する為、平成27年度へ延期。同様に、平成27年度委託実施予定校も繰り下げていく。 今後は、調理室改修工事に影響する諸工事に留意して事業を進めていく。
給食調理業務を直営で行っている小学校の調理室を衛生管理の向上及び児童数増加への対応のために改修・増築し、あわせて民間委託を実施します。								
7-1-2-3 財務会計システムの導入事業 <再掲> (財政課・政策企画課・行政管理課)	平成25年度から運用開始	実施計画・予算編成作業から稼働	実施計画・予算編成作業から稼働	実施計画進捗状況・財政情報等を市のHP等に掲載	—	実施計画進捗状況・財政情報等を市のHP等に掲載	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年度は平成26年度から開始する行政評価の実施に向け準備を行い、実施計画システムを稼働させた。 また、システムを用いて実施計画・予算編成作業を行うことができた。
情報システム最適化計画にもとづくオープン化の一環として、新たな財務会計システムを導入します。その際、実施計画・行政評価と、予算・決算、施策の進捗状況や財政情報の開示までが一連の流れで行える形にすることにより、PDCAサイクルの確立及び市民にわかりやすい情報の開示を目指します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
7-1-2-4 国民健康保険課窓口業務委託事業【特別会計】<再掲> (国民健康保険課)	平均処理時間	27 分	25 分	21 分	—	15 分	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年10月から窓口委託を開始し、6ヶ月間の平均処理時間は25分と計画を上回る結果だった。特に、2・3月の平均処理時間は、21・22分と短縮傾向にあり、効果があがってきている。 平成26年度からは新たに受付区分別処理時間集計表を作成し、受付事由ごとに事務の流れや発券方法について毎月検証して改善を図る。 また、受電委託については、委託側と職員側の受電件数がほぼ半々になっており、委託側で処理された時間分が事務効率の向上につながっている。
7-1-2-4 本庁舎1階の窓口業務改善事業 (管財課・戸籍住民課・国民健康保険課・国民年金課)	平成25年度レイアウト改善完了	レイアウト変更等の完了	レイアウト変更等の完了	—	—	—	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年10月に、本庁舎1階レイアウト変更等の改修が完了した。 改修後は順調に機能しており、人の流れが整理された。それ以後も利便性向上のため、随時、動線を確保するレイアウト修正を実施している。
7-1-2-4 豊富出張所建替事業 (二宮出張所)	平成26年度に開館	建設工事	建設工事	開館	変更なし	—	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 計画どおり工事が進んでおり、平成26年9月開館、平成27年度に外構工事を予定している。全体工程に変更はない。
7-1-3-1 介護保険料コンビニ収納導入事業【特別会計】<再掲> (介護保険課)	コンビニエンスストアでの収納件数	30,000 件	41,216 件	32,100 件	—	32,100 件	—	【予定(計画)どおり進んでいる】 コンビニ収納を開始した平成25年度は、計画値を上回る利用実績であった。 第1号被保険者の利便性が向上し、事業の目的は達成できており、今後も事業を継続していく。
7-1-2-4 豊富出張所の老朽化に伴い、同敷地内での建替えを実施します。								

平成25～27年度実施計画進捗管理表

事業名	目標 (変更後)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		事業の進捗状況
		計画	実績	計画	変更後	計画	変更後	
7-1-3-2 財務会計システムの導入事業 <再掲> (管財課)	平成26年度から運用開始	財産データの整理、 セットアップ	財産データの整理、 セットアップ(継続中)	システムを活用した 財産管理を開始	—	—	—	【概ね予定(計画)どおり進んでいる】 平成25年12月より、財産管理システムのセットアップ作業を実施しているが、データ量が膨大で確認作業に時間がかかっており、まだ本稼働には至っていない。 平成26年9月には本稼働となる予定である。
情報システム最適化計画にもとづくオープン化の一環として、新たな財務会計システムを導入します。その中に、財産管理に関する機能を組み入れ、活用することにより、市有財産全体の情報を整理して、資産の有効活用や不要資産の売却等を促進します。								
7-1-3-2 本庁舎整備事業 (管財課)	庁舎更新計画にもと づき、改修工事を実施	予定の工事の完了	予定の工事の完了	予定の工事の完了	変更なし	予定の工事の完了	変更なし	【予定(計画)どおり進んでいる】 屋上ソーラー撤去、屋上防水改修の工事及び空調機・照明改修等の設計については予定どおり平成25年度中に完了した。 平成26年度については、その設計に基づき、改修工事を実施する。
竣工から31年目を迎えた市役所本庁舎の設備機器を改修計画に沿って順次更新することにより、本庁舎機能の維持及び利用者の利便性向上を図ります。								

平成25年度～平成27年度

船橋市実施計画進捗状況報告書

編集・発行

船橋市企画財政部政策企画課

平成26年8月

〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号

電話番号 047-436-2057